

会 議 結 果

会議名	令和3年度 第3回西尾市地域公共交通活性化協議会
日時	令和3年11月12日(金) 午前9時30分～11時20分
場所	西尾市役所 多目的室ABCDE (1階)
出席者	西尾市地域公共交通活性化協議会委員18名 事務局6名
傍聴者	6名
議 事	<p>1 開会・あいさつ</p> <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none">・あいさつ・配布資料確認 <p>○松尾会長</p> <ul style="list-style-type: none">・コロナも落ち着いてきている中、会議を開催できて嬉しく思う。・公共交通の利用は昨年度に比べればかなり戻ってきているがコロナ前までは回復していない。通勤通学としての利用は戻ってきているが、一般の利用はなかなか戻ってきていない。どう戻すかが大切になってくる。 <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none">・人事異動による委員の変更 名鉄バス株式会社運行部運行課長 名鉄東部交通労働組合執行委員長・委員の半数以上の出席により会議成立 <p>2 議題</p> <p>(1) 六万石くるりんバスの停留所の移設について (協議事項)</p> <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none">・資料1により説明。 <p>○松尾会長</p> <ul style="list-style-type: none">・距離としてはどのくらい移動か。 <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none">・約50メートルである。 <p>○採決—原案可決 (全員承認)</p> <p>(2) 次期西尾市地域公共交通計画 (素案) について (協議事項)</p> <p>① 主なアンケートの結果について</p> <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none">・アンケート結果について説明。 <p>○松尾会長</p> <ul style="list-style-type: none">・目的は再編の評価、次期計画をどのように立てていくかである。・どのように記載していくべきか、提案あればいただきたい。 <p>○大竹委員 (名鉄東部交通株式会社)</p> <ul style="list-style-type: none">・感染症が終息した場合の公共交通利用傾向について、終息したとしても公共交通を「利用する」と回答した人は84.6%で、11.7%は「わからない」から、公共交通に戻ってこないのは自動車の利用によるものとしているが、アンケート結果と分析が繋がらないように思える。

○松尾会長

- ・Nの数から、公共交通に代わって利用するようになった移動手段と終息後の公共交通利用意向は同じ人の回答であると思われる。移動手段が自動車の人が72.6%、終息後の利用意向が84.6%で多く人の利用が戻ってくるという解釈が一番自然だと思う。

○大竹委員（名鉄東部交通株式会社）

- ・「利用しない」と答えた人が11.7%いるならこの解釈でもいいと思うが、「わからない」のであればなぜそれが不確定となるのか。もう一度そこを詰めたほうがよいと思う。

○松尾会長

- ・自動車を利用する人のなかで、どのくらいの人が公共交通の利用に戻るのか分析が必要である。また、わからないと答えた人の中には、コロナの終息が見通せないのだからわからないと答えた人もいると思う。そのあたりを含めて見直しをお願いする。

○杉浦代理（中部運輸局愛知運輸支局）

- ・33 ページ、困るときの対応について年齢別で分けると面白い結果が出るのではないかと思う。

○事務局

- ・分析できると思うので、追記させていただく。

○大竹委員（名鉄東部交通株式会社）

- ・困るときの対応で、「タクシーを利用する」という回答があるが、これは最初から選択肢として用意してある回答か、任意の回答か。

○事務局

- ・選択肢である。

○大竹委員（名鉄東部交通株式会社）

- ・公共交通が利用できないときに使う交通手段としてタクシーの選択肢があるということは、タクシーは公共交通ではないという認識か。

○事務局

- ・設問では、日常の移動について不便を感じているかについて聞いており、それを受けてどうしているかを問う質問のため、公共交通ということばは使っていない。

○松尾会長

- ・アンケートの内容もこの場で協議しているので協議が甘かったかもしれない。ただ、「移動が不便」とは、「乗り合いの公共交通が使えなかったとき」という考え方になっているのではないか。

○事務局

- ・先ほどの愛知運輸支局の指摘について、詳細な回答内容が西尾市公共交通に関するアンケート調査結果報告書32 ページに年齢別のものが記載されている。

○松尾会長

- ・計画のほうにも記載したほうがいい。
- ・45 ページ、いっちゃんバスの集計について、いっちゃんバスの沿線ではない人にとってはどちらでもない・わからないと答えるのは当然。しっかり評価するのであれば沿線の人たちまたは利用者の意見を反映させたほうが良いと思う。

○事務局

- ・いっちゃんバスの回答数が少ないため、特段路線別で表記しなかった。

○松尾会長

- ・誤解を招かないよう、注記をつけたほうがよい。
- ・35 ページの1、バス路線や停留所の新設についても地域を分けて表記することも一つの方法だと思う。
- ・37 ページの下、バスサービスについて改善してほしいことについて、いっちゃんバスの「特にない」というのは、すべての地域を合わせて集計しているので、いっちゃんバスに関係しない地域が多く含まれているためだと推測される。地域を分けて分析をお願いする。

②次期西尾市地域公共交通計画の素案の概要について

○事務局

- ・西尾市地域公共交通計画の素案について説明。

○松尾会長

- ・25 ページの計画の達成状況、48、49 ページの計画の方針と目標についてより詳しく説明を。

○事務局

- ・25 ページについて、基本方針4つを設定している。①についてはアンケート結果から数値を出している。③④については、一色・吉良・幡豆の各地区において協議会を設置して活動したものの。②については、公共交通機関ごとに設定した目標値に達成しているかを記載したもの。令和元年度までは名鉄東部交通・佐久島渡船・ふれんどバス等で目標を上回っていたが、コロナの関係で令和2年度は目標を下回っている。
- ・48、49 ページについて、上位関連計画における将来都市像や、施策の方向性及び地域公共交通の課題を踏まえて、将来像を「公共交通が市民の暮らしと交流を支えるまち」とし、3つの基本方針を定めている。

○松尾会長

- ・それらの目標を設定した背景はどうか。

○事務局

- ・基本方針の①は、鉄道でいえば利用者数が目標に達していない背景において、鉄道を維持活性化するために、利用者数の増加を目指した。駅前広場の整備なども含めて進めていくことを記載した。全体としては、公共交通機関同士の接続が不十分などところがある背景において、公共交通の中身を充実させていくため。また、愛知県が進める自動運転などの新しい交通システムの推進の背景において、西尾市でも導入できるか考えていこうとする方向性を示した。
- ・基本方針②については、市民の利用の観点で進めてきたが、人口減少などの面も踏まえ、観光利用者の増加も意識したもの。キャッシュレス決済などのIT技術の活用なども考えている。
- ・基本方針③は、コロナの影響で利用者が減ってきている。回復の兆しはあるが、なかなか完全に戻るのは難しい。そのため、公共交通の魅力発信を掲げている。地区公共交通協議会を生かしながら利用促進を進めていくものである。

○加藤代理（名鉄バス株式会社）

- ・25 ページにて、計画達成目標の①、日常生活で移動に不便を感じている市民の割合が激減しているが、データのとり方は同じか。

○事務局

- ・市民を対象にしたアンケートであるため、同じである。

○加藤代理（名鉄バス株式会社）

- ・激減の理由を再編による効果と言い切っているが、少し違和感があった。
- ・一方で西尾市が住みにくい理由における「交通の便が悪い」の割合は上がっており、移動の不便と大きな差があるのも気になった。

○松尾会長

- ・アンケートの取り方については同じであったか確認する必要がある。
- ・日常の移動の不便については公共交通に限った話ではないので、バス再編以外に要因があるかもしれない。

○小嶋代理（愛知県交通対策課）

- ・46 ページ、課題の整理②では、いこまいかーの認知度が低いことから市民の周知については工夫する必要があるとしているが、49 ページの計画の方針と目標では利便性の向上についてしか書かれていない。何か考えがあるか。

○事務局

- ・認知度についても記載していく。

○松尾会長

- ・ぜひ入れていただきたい。

○杉浦代理（中部運輸局愛知運輸支局）

- ・序章について、目標が見当たらない。計画が目指すべき将来像について触れてほしい。
- ・25 ページ、アンケートを実施してから目標を設定しているか。
- ・前計画の基本方針については、記載の順番を先にもってきてもよいのでは。
- ・基本方針の達成状況を方針ごとに1つずつ記載してもよいのでは。
- ・53 ページ、幹線として位置付ける場合は、要綱の改正もあり記載すべき事項がいくつかある。例えば、凡例のところに幹線系統については幹線であると記載してほしい。
- ・全体的に、定量的な数値目標を設定してほしい。56 ページの個別事業に目標指標として数値が書かれているが、「6 計画の方針と目標」には書かれていないので、目標は目標でまとめてほしい。
- ・目標の考え方や、どうしたら目標を達成できるのかの方向性を記載してほしい。
- ・西尾市は観光資源があるので、公共交通との連携など、もう少し観光について触れてもよいのでは。

○事務局

- ・意見を踏まえて修正してまいりたい。

○松尾会長

- ・48 ページ、6-1 で5つの指針が書いてあり MaaS が2番目に来ているが、MaaS は手段であるので一番下でもよいと思う。

○事務局

- ・下にもっていく。観光については、言葉を強くして記載する。

○片桐委員（東伸運輸株式会社）

- ・MaaS や自動運転について、市が具体的に進めていくものなのか。

○事務局

- ・具体的なスケジュールが示されているものではない。去年は西尾市で自動運転の実証実験が行われたが、具体的な方策について持ち合わせているわけではない。

○松尾会長

- ・56 ページ、事業①-1-1 のレンタサイクルやパークアンドライド、サイクルアンドライドというのは自治体でも進められる。

③各公共交通における目標値の設定について

○事務局

- ・資料2により説明。

○松尾会長

- ・目標設定の考え方や経緯を計画に記載したほうが良い。目標を修正するときが必要。
- ・名鉄東部交通バス、ふれんどバス、六万石くるりんバスについて、令和元年の90%まで回復すると推定とあるが、今のままで90%まで戻るのか、様々な事業をやった上で90%まで戻ると認識しているのかどちらか。

○事務局

- ・事業を実施したうえで90%戻ると認識している。

○松尾会長

- ・まず90%まで戻すということ、そのあたりは計画に記載してほしい。
- ・52 ページ、最低維持基準はコロナの影響を考慮するとしたので、52 ページにはその旨を記載する必要がある。

- ・いこまいかーについて、利用が伸びている点は良いが、毎年ここまで伸びるポテンシャルがあるのか確認する必要があると思う。認知度を上げることでまだまだ伸びるのか、一方で周知が進んでいずれ頭打ちになるのか。6,090人が十分可能な目標なのか検討したほうが良い。逆に供給の面からみて6,090人は達成できるのか。

○事務局

- ・目標値の設定に当たり、タクシー会社にヒアリングした。供給できるかどうかについては、現在のコロナ禍の状況では見通しは難しいが、利用時間帯について調整ができれば供給可能とみている。

○松尾会長

- ・「調整がつかないと難しい」と言い切る必要はないが、バランスをとっていく等の記述はあってもよい。

○加藤代理（名鉄バス株式会社）

- ・24ページ、パークアンドライド駐車場に関連してサイクルアンドライドについてお伝えしたい。ふれんどバスの紹介であるが、西尾市内の17停留所のうち7停留所、一色町公民館と平坂勤労会館を含めれば9停留所で駐輪場を確保している。

○松尾会長

- ・インフラが進んでいるが、利用のための周知はどのようにしているか。

○加藤代理（名鉄バス株式会社）

- ・バス停に案内図を設置している。また、ホームページの中で紹介している。

○事務局

- ・それらは56ページではなくバスサービスの充実の方に記載していきたい。

○松尾会長

- ・鉄道のほうにも記載してよいと思う。

○松尾会長

- ・数値目標は6年間で立てているが、高すぎる目標を立てないように注意したい。

○杉浦代理（中部運輸局愛知運輸支局）

- ・アンケートの自由記述について沢山いただいているので、できるところから少しずつ改善してもらいたい。

○採決—原案可決（全員承認）

○事務局

その他、ご意見については11月中にお願いしたい。

3 その他

- ・第4回協議会 令和4年1月予定
次期西尾市地域公共交通計画（案）の提示、コミュニティバス等の利用状況、地域間幹線系統事業評価。
- ・西尾市公共交通時刻表を10月に改訂
- ・11月9日付で、コミュニティバスの運行委託先である西尾交通(株)に対し、中部運輸局から文書警告。
西尾交通株式会社月脚社長から謝罪と事情説明。

4 閉会

- ・11時20分終了。

以上